都市再生緊急整備地域の地域整備方針の案の内容となるべき事項

（枚方市）

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
枚方市駅周辺地域	枚方市は京都と大阪の中間に位置し、枚方市駅周辺には、府内有数の鉄道・バスの交通結節機能や行政機能が集積している。また、淀川に代表される豊かな自然や枚方宿をはじめとする歴史・文化的資源にも恵まれ、広域エリアの中心的な機能を担う拠点として発展してきた。 こうした自然・歴史・文化をはじめ、病院や５つの大学の立地、盛んな市民活動など、既存の地域資源を最大限活用し、まちの魅力を高め観光や交流を促進する。あわせて、枚方市駅前広場や市役所付近に集中している人の行動範囲を広げ、まちにゆとりを創出するため、行政施設等の用地を有効活用しつつ、土地の高度利用化により、商業・業務・医療・居住・学び・文化・交流・行政機能などの都市機能について、国内のみならず世界も意識した更新、強化を図るとともに、回遊性の向上や賑わいの創出、人口流出の抑制を図るなど、周辺市を含めた広域中心拠点の形成とコンパクトシティの実現を目指す。 また、住民や学生、就業者をはじめ、国内外からの来街者など、多様な人々が新たな発見や楽しむ、学ぶ・働く機会が得られる「職・学・住・楽」近接のライフスタイルが実現でき、子育て世代を中心とした定住の促進を目指す。	○多様な居住ニーズに対応した良好で質の高い都市型居住機能の強化 ○新たな来街者の誘導や商業・業務機能を支えるための宿泊機能の強化 ○賑わい創出に寄与する商業機能の強化 ○職住近接の観点から都心とは異なる高齢者や女性を含めた様々な人材に多様な働き方を実現するシェアオフィスや新たな価値を生み出すインキュベーション（起業支援）などの業務機能を強化 ○震災等においても安全性を確保できるよう公民連携による防災機能の向上	○現市役所用地をはじめ国・公有地など既存ストックを活かしたまちの再編 ○歩行者の回遊性を高めるための歩行空間の形成 ○駅の交通結節点機能を強化するため、自動運転など近未来技術等の活用を想定した駅前交通広場、地域内道路、集約駐車場の整備 ○岡東中央公園を中心に商業・業務施設との連携した様々な賑わいの創出や交流を促進する広場空間の整備	○歴史文化と自然を身近に感じることができる魅力と趣きある景観形成 ○清潔で魅力があるまちとして成長するために、既存の地域資源を生かしながら公民連携による持続発展可能なエリアマネジメントによる活性化の促進 ○民間ノウハウ・投資を促すための優遇措置や地域の活性化に資する事業への新たな投資手法の活用を検討 ○産学公の連携によるヘルスケアビジネスの促進など健康増進の実現と教育学習機能をはじめとした多様な世代が学び交流する場の創出 ○大阪で万国博覧会が開催されることを踏まえ、IoT や AI などの新技術を活用し生活の利便性の向上やゼロエミッションなど環境面にも対応したスマートシティの実現に向けた取組みを促進 ○まちの魅力、知名度の向上に向けた情報発信力の強化